

# 学童保育運動の 歴史をたどる資料集

編集復刻版

# 学童里保育

関係資料集成

第1期 全16巻

待機児童、児童数の大規模化、指導員の待遇等々、いま学童保育をめぐる状況は多くの問題を抱えている。子どもに安全に楽しく放課後を過ごしてほしいという親たちの切実な願いから、学童保育運動は、その後も紆余曲折を経て現在に至っている。本資料集成は、草の根の学童保育運動を歴史的に跡づけるために、当事者の努力によりのこされた貴重な資料をもとに編集された。一九六〇年代から、全国的な運動に発展してゆく一九七〇年代中ごろまでの各地の資料を収録した。子どもをもつ親の就労の権利、子どもが安全に豊かに放課後を過ごす権利、小さな子ども社会としての学童保育の歴史をたどる。



- 編・解説— 石原剛志
- 体裁— B5判／上製／総約7,200ページ
- 揃定価— 320,000円＋税（税込352,000円）
- 配本— 全4回配本
- 推薦— 増山均・亀口まか・二宮衆一・蓑輪明子

六花出版

学校でも家庭でもない、もうひとつの子どもの場《学童保育》は、どうやってつくられ、今なにが問題なのかを考えるための資料集成

放課後や長期休暇に小学生の保育をおこなう「学童保育」は、未就学児の保育園での保育と同様、働く親たちにとって仕事ができるかどうかを左右する生命線である。と同時に「昼間のきょうだい」たちと安全に過ごし、生活と遊びを楽しむ場として、子どもたちにとっても重要な居場所である。

「#学童落ちた」「#小1の壁」と言われるように、学童保育をめぐる状況は、少子化が深刻な問題となり、戦後八〇年を迎えようとしている現在ですら、厳しい。家族構成が変化し、都市部に核家族が集中し共稼ぎ家庭が増えていった戦後、とくに高度経済成長期以降、保育所設置運動の次に展開したのが学童保育設置運動であるのは必然であった。

本資料集成は、「留守家庭児童」が問題とされるようになった一九六〇年代から、学童保育連絡協議会が全国組織をめざし、各地の動きが活発化する中で、とくに東京・大阪・愛知での運動の一九七〇年代前半までの資料を中心に編纂した。

実は学童保育は都市部でのみ必要とされたのではなかった。出稼ぎなどによる家族形態の変化により、地方でも学童保育の必要性は切実であった。本資料集成では可能な限り広く目配りし日本各地での学童保育を求める家族や地域のありようを明らかにする資料を求め（第1期）としてまとめたが、今後も継続して資料調査をしてゆく。

「カギっ子」「不在家庭児童」「保育に欠ける」という視点から、「保育を必要とする」「子どもが遊ぶ権利」「子どもが望む体験を保障する」という視点を獲得しようとしている現在、学童保育の出発点からの歴史をたどる貴重資料を刊行する。（六花出版編集部）

愛知学童保育ニュース

「愛知学童保育連絡協議会」の二回準備会の報告

愛知学童保育連絡協議会二回準備会は、去る10月6日日本福祉大学で、学童保育指導員、父母、厚生労働省が参加して開かれました。八月以後の各地の動きは、民間の学童保育所では、相変わらず、様々な困難にぶつかっています。厚生労働省は、保育料が、三万円から十万円に値上げされ、新しいおうちや、機器類では場所の問題が解決していません。島田一山では、セツルメントと学童保育の関連について問題が出てきています。父母会など、父母と指導員のつながりについても、なかなか話し合いが開けられない。父母の学童保育に対する理解が弱い。一般の父母の学童保育に対する偏見がある。などの問題が提起されました。しかし、こうした中でも、場所として、学校を借りる運動を進めたり（ちいさいおうち）お母さん方が、区役所へ交渉に行ったり（豊橋市）することなどは進んでいます。十音亭、その他では、学童保育を行うためのやる会づくりや、カンパ活動も進んでいます。

愛知学童保育ニュース

へ連絡協議会の結成へ向け

二回準備会の時、問題になった規約についても、入会や会費の徴収について一部修正し、確認されました。すでに入会費の徴収をめぐり、教組、個人団体、子どもを守る団体などへ呼びかけて、11月中旬、結成のための研究集会のようなのを期して、とくに「こども」に呼びかけ、各団体、個人でも、まわりの人にかきかけて、入会して下さるよう呼びかけます。松下住宅（市）志賀岡地（北区）に学童保育所が誕生しました！

全国協議会の運営委

かれました。11月の全国学童保育研究集会は、大阪学童保育連絡協議会の運営委員会が十月に開かれました。オ四回研究集会の反省や、オ四回研究集会について話し合わせ、分科会の

関連年表

Table with 2 columns: Year (1945-1997) and Event Description (e.g., 1945 敗戦, 1948 今川学園保育所(大阪市東住吉区)で園長三木達子、小学生になった卒園児を預かる, 1967 大阪市学童保育推進協議会(会長・三木達子)結成, 1973 全国学童保育連絡協議会「日本の学童保育」誌(隔月刊)発刊, 1997 第50次児童福祉法改正、放課後児童健全育成事業を法定事業化(学童保育の法制化)、翌年4月施行)

愛知学童保育ニュースNo.1 1969年10月25日

指通されていまして、事務関係の強化についても、合われ、当面は、東京周辺の運送委員が協力してくいことになりまして、又、未だの研究集会は、10月10、11日、大阪府庁(こうこう)になりまして、愛知では、保育運動の各分野は、それぞれ前進して、また、それらの横のつながりを強めるために、愛知学童保育連絡協議会結成の準備が進められ、学童保育連絡協議会準備会へも、参加の申入れが着いています。次の準備会を検討したいとおもいます。

学童保育指導員の正規職員化のお願い

昭和三十八年東京都の自主事業として発足した学童保育は、働く母親にとって安心して子どもを預けられる場としてその必要性は年々高まってきました。又、子どもをとりまく環境は交通事故、公害、等と常に脅かされ、安全な遊び場の不足、俗悪なテレビ番組の増加等により子どもの全面的な発達を保障する条件はどんどん奪われつつあります。この様な中で異なった年令の集団を教育的に組織し指導する場である以上、それに単に学校教育と家庭教育の谷間を便宜的に埋めるものでなく、当然独自の人格をもった「第三の教育の場」として位置づけるべきだと思えます。その中において、学童保育指導員として働く私たちは、子どもの生命を預かり育てるものとして、責任は重く、専門職としての自覚の上に指導に専念してきましたが、指導員の殆んどが有資格者でありながら時間的に短かいという理由だけで、常勤でありながら非常勤職員として扱われ、交通費は勿論のこと、すべての給与は適応されず、物価上昇のあり私たちの生活を維持していくことは非常に困難です。又、時間外手当の保障もなく、指導上の準備、研究なども十分に進めることができません。又、休暇についても、有給休暇も少なく、産前産後、生休、疾病結核などの保障もなくその為無理をおして勤務し、そのために退職に追いやられた指導員さえおられます。退職に際して、退職金すらなく、この様な状態では、子どもの生命を安心して守ることもできず、又、働く母親にとっても安心して働くことすらできないという状態の中で、本当の学童保育の目的は果たすことが

学童保育指導員の正規職員化のお願い(東京都学童保育指導員労働組合) 1969年10月20日

第1巻 「留守家庭児童／不在家庭児童」調査資料編Ⅰ

留守家庭の子ども 指導事例集 ●名古屋教育委員会  
●一九六二・三  
尼崎市における昼間孤児の実態調査報告書  
●一九六四・三



不在家庭児童の教育をめぐる研究 昭和38年度研究報告 ●大阪市教育研究所 ●一九六四・三

日本の子どもとその家庭の実態 全国家庭児童調査結果報告 ●日本児童福祉協会 ●一九六四・六

日本の子どもとその家庭の実態 続・家庭福祉編 全国家庭児童調査結果報告 ●日本児童福祉協会 ●一九六六・一

留守家庭の教育問題に関する実験的研究 ●母親乃学園 ●一九六六・三

第2巻 「留守家庭児童／不在家庭児童」調査資料編Ⅱ

転入勤労青少年および留守家庭児童・生徒と非行との関連調査報告書 ●神奈川県 ●一九六二・一  
かぎっ子の実態と対策に関する研究 青少年問題研究調査報告書 ●総理府青少年局 ●一九六八・三



第5回学童保育研究集会 第2分科会 よりよい学童保育のために ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・一〇

全国学童保育ニュース No.35 ●学童保育連絡協議会 ●一九七〇・一一

こどもたちにとって学童保育とはなにか ①討議資料 第6回学童保育研究会 ●学童保育連絡協議会 ●一九七二・一一

第6回学童保育研究会のお知らせとお願い ●学童保育連絡協議会 ●一九七二・一一

全国学童保育ニュース No.39 ●学童保育連絡協議会 ●一九七二・四

全国学童保育ニュース No.41 ●学童保育連絡協議会 ●一九七二・九

第5巻 全国学童保育連絡協議会編Ⅰ

第7回全国学童保育研究会 ●全国学童保育連絡協議会 / 全国集会京都実行委員会 ●一九七二・九

こどもたちにいっきとした放課後を 第7回全国学童保育研究会 討議資料 ●学童保育連絡協議会 ●一九七二・九

全国学童保育ニュース No.42 ●全国学童保育連絡協議会 ●一九七三・一

学童保育合宿研究会討議資料 ●一九七三・五

学童保育の手びき 子どもたちのいっきとした放課後のために ●全国学童保育連絡協議会 ●一九七三・八

第4巻 学童保育連絡協議会編Ⅱ

第3回学童保育研究会報告集 ●一九六九・一  
第4回学童保育研究会開催についてのお願 ●学童保育連絡協議会 ●一九六九・九

第4回学童保育研究会報告集 ●学童保育連絡協議会 ●一九六九・九

学童保育指導員の正規職員化のお願い 学童保育の意義 施設設備の現状 ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九六九・一〇

学童保育及び指導員の実態調査 45年4月末現在 ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・四

第2回定期大会議案集 ●東京都学童保育指導員組 ●一九七〇・五

子どもねがい親の願い ●一九七〇・八

学童保育の実態調査についてのお願 ●学童保育連絡協議会 ●一九七〇・八

第五回学童保育研究会・速報 ●学童保育連絡協議会 ●一九七〇・九

第五回全国学童保育研究会 討論資料 ●学童保育連絡協議会 ●一九七〇・一〇

第五回全国学童保育研究会 報告書 ●学童保育連絡協議会 ●一九七〇・一〇



学童保育の経験から 婦人民主クラブ / 学童保育連絡協議会 / 神谷こどもクラブ ●一九六二・七

よりよい学童保育のために その手びきと問題点の解明 1964 ●学童保育連絡協議会 ●一九六四・八

学童保育の生活と指導 がくどうほいく ●東京保育問題研究会保育政策部 ●一九六五・七

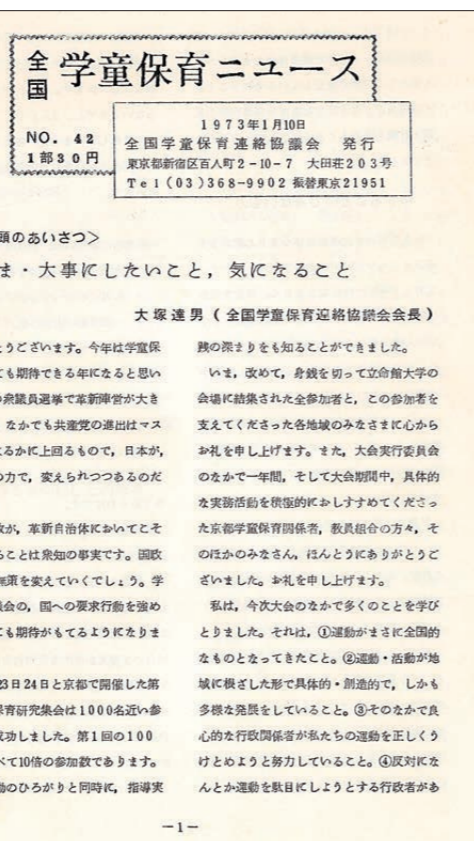
改訂 よりよい学童保育のために その手びきと問題点の解明 1965 ●学童保育連絡協議会 ●一九六五・八

子どものしあわせ 3月号(抄) ●日本子どもを守る会 ●一九六六・三

子どものしあわせ 9月号 ●日本子どもを守る会 ●一九六六・九

学童保育連絡協議会総会 ●一九六八

よりよい学童保育のために その現状と運動の手引き 1968年 ●学童保育連絡協議会 ●一九六八・七



こどもたちにいっきとした放課後を 第8回全国学童保育研究会 討議資料 ●一九七三・一一

全国学童保育連絡協議会総会資料 ●一九七三・一一

全国学童保育連絡協議会機関誌(隔月刊)発行計画 ●一九七三

1973年1月10日 発行  
NO. 42 1部80円  
全国学童保育連絡協議会  
東京都新宿区百人町2-10-7 大田荘203号  
Tel (03) 368-9902 郵政東京21951

＜年頭のあいさつ＞  
いま・大事にしたいこと、気になること

大塚達男 (全国学童保育連絡協議会会長)

新年おめでとございます。今年も学童保育運動にとっても期待できる年になると思います。昨年末の衆議院選挙で革新陣営が大きく伸びました。なかでも共産党の躍進はマスコミの予想をはるかに上回るもので、日本が、自覚した国民の力で、変えられつつあるのだと感じました。

学童保育行政が、革新自治体においてこそより進んでいることは衆知の事実です。国政の革新は国の無事を憂えていてほしい。学童保育連絡協議会の、国への要求行動を強めるといふ運動にも期待がもてるようになりました。

昨年、9月23日24日と京都で開催した第7回全国学童保育研究会は1000名近い参加者によって成功しました。第1回の100名規模にくらべて10倍の参加数であります。このような運動のひろがりと同時に、指導実践の深まりも知る事ができました。

いま、改めて、身銭を切って立命館大学の会場に結集された全参加者、この参加者を支えてくださった各地域のみなさまに心からお礼を申し上げます。また、大会実行委員会のなかで一年間、そして大会期間中、具体的な実務活動を積極的におこなうすめてくださった京都学童保育関係者、教員組合の方々、そのほかみなさん、ほんとうにありがとうございます。お礼を申し上げます。

私は、今次大会のなかで多くのことを学びとりました。それは、①運動がまさに全国的なものとなってきたこと。②運動・活動が地域に根ざした形で具体的・創造的で、しかも多様な発展をしていること。③そのなかで良心的な行政関係者が私たちの運動を正しくけとめようと努力していること。④反対になんとか運動を黙殺しようとする行政者があ



こどもたちにいっきとした放課後を 第7回全国学童保育研究会 討議資料 ●一九七二・九

第6巻 東京編Ⅰ

全国学童保育連絡協議会事務局 ●一九七五・五

全国運営委員会 ニュース No.11 ●全国学童保育連絡協議会 ●一九七五・七

第10回全国学童保育研究会 参加者のしおり ●全国学童保育連絡協議会 ●一九七五・一〇

全国学童保育連絡協議会会報 No.7 ●一九七六・二

東京都学童保育施設一覽表 ●一九六五・七

みんなの学童保育 ●寫字学童保育クラブ ●一九六八・三

第3回定期総会議案集 ●杉並区学童保育指導員労働組合 ●一九六八・七

学童つ子 ●中野区学童保育クラブ父母会 ●一九六九・三

学童保育所 設置をめざして ●多摩川住宅保育の会 学童保育部 ●一九六九・九

三多摩学童保育連絡協議会報告 第1集 ●三多摩学童保育連絡協議会 ●一九七〇・六

## 《新しい子育て・子育て》 創造のために

増山均 ● 早稲田大学名誉教授 日本学童保育学会前代表理事

**「道」**を歩いている人に『学童保育って何ですか』と尋ねて、正しく答えられる人は、どのくらいいるでしょうか。おそらく一〇人に一人もいないでしょう（大塚達男・西本昭夫『あめんぼクラブの子どもたち』鳩の森書房、一九七〇年二月）、このように学童保育はその名をほとんど知られていない存在だった。しかし今、学童保育は子ども放課後の居場所の一つとしてひろく国民的理解を得た社会的な施設になっている。

学童保育は、一九五〇年代から一九六〇年代の高度経済成長期に全国で進んだ女性労働と都市化の広がりのなかで、親たちの必要から生み出された。新しい社会的需要（①共働き家庭の子育て支援、②放課後の子どもの居場所）にこたえる学童保育は、どこにも法の規定がなかったため公的な財政支援は度外視され、公的施設としての学童保育づくりは進まなかった。

しかし、学童保育の充実・発展を求める親たちの連絡組織が各地に生まれ、一九六七年に「全国学童保育連絡協議会」が結成される。その後、学童保育への公的支援と法制化を求める国民運動が高まり、一九九七年に児童福祉法が改正され、その中に初めて「放課後児童健全育成事業」として書き込まれたのである。

法制化によって学童保育の設置数は急速に増加し、全国連協の最初の調査時（一九六七年五一五カ所）、児童福祉法に法制化時（一九九七年九〇四八カ所）、そして二〇二三年五月調査時現在では「カ所数」で二万五八〇七カ所、「支援の単位数」で三万七〇三四カ所（子ども家庭庁調べ）となり、いまや小学校の数（二万八八八〇校）より多い時代になっている。

父母住民の手で、ゼロから築き上げて来た学童保育の歩みは、『新しい子育て・子育て』創造の営みであり、豊かな教訓を秘めた魅力に満ちた研究対象であるが、その一次資料は分散したままである。全国の草の根からの取り組みを蒐集した編集復刻版『学童保育関係資料集成』の発行は、今後の学童保育研究の発展に向けて、きわめて重要な資料となるに違いない。

（ましやま・ひとし）

**第5回 大阪学童保育研究集会**

＊記念講演 ひとり学級の子どもたち  
——ひとり学級の著者——  
須長茂夫氏

子どもに生き生きした放課後を!!  
働く婦人の権利を守る学童保育を!!

■主催 大阪学童保育連絡協議会  
■後援 大阪府教育委員会  
大阪府・市・社会福祉協議会  
■とき 昭和48年3月21日(水)(祭)  
AM.10:00—PM.4:30  
■ところ 大阪市立木津中学校

こどもにとって  
学童保育とはなにか

①討議資料

大阪学童保育連絡協議会  
1972.11.12.

愛知に於ける  
学童保育運動の現状と課題

No. 2  
1972.11.12.

愛知学童保育連絡協議会

川崎の学童保育

1972.11.12.

大阪の学童保育  
No. 2

1972.11.12.

よりよい学童保育のために  
——その歩みと現実の解明——

1984

学童保育連絡協議会

学童保育と子どもたち

1972.11.12.

がくどうほいく  
八年のおゆみ

上郷岡市学童保育の会

ほくは  
なかがほしいんよ

1972.11.12.

こどもたちに  
いきいきとした  
放課後を

第8回全国学童保育研究集会 討議資料  
1972.11.12.

## 「子どもの居場所問題」を

### 学際的に考えるための資料群

亀口まか ● 龍谷大学

コロナ禍に突如として要請された学校一斉休業が、子どもたちの居場所問題をクローズアップしたことは記憶に新しい。放課後や学校休業日に、親が働く子どもたちはどこでどのように過ごすのか。そうしたニーズに、多様な担い手が多様な方法で応えようと奮闘してきた「学童保育」は、戦前にその始まりをとらえることができる。

「学童保育」は、時代や地域によって「留守家庭児童」「不在家庭児童」「カギツ子」など、対象の子どもや家庭をさまざまに表現しつつ、学校、女性労働、家族をめぐるその時どきの社会状況に呼応して取り組まれてきた。その歩みは、家族や子育てのあり方、学校教育と家庭教育の関係、地域社会の役割について、当該社会の人々がどのような関心を向けてきたのかを浮き彫りにする。

保育・教育・福祉・ジェンダーの各領域における学際的な研究の蓄積が期待されるが、その作業はまだ緒に着いた段階である。本資料集成における高度経済成長期以降を中心とする豊富な資料が、実証的な解明を間違いなく前進させてくれるだろう。

（かめぐち・まか）



## 保護者の願いを実現する

### 市民運動の成果を検証するために

二宮衆一 ● 和歌山大学

**戦**後、全国各地に広まっていった学童保育。その歩みを振り返ると、保護者や指導員の要求、そして先駆的な実践によって支えられ、広まってきたことがわかる。これまでの研究によれば、戦後の学童保育のはじまりは、一九四八年に大阪の今川学園において卒園児を対象に行われた保育といわれている。

その後、学童保育は保護者自身の手による共同保育として東京や大阪などの都心部において継承され、発展していき、一方では全国学童保育連絡協議会（一九六七年結成）に代表される全国的な運動団体の組織化に結びつき、他方では都市児童健全育成事業（一九七六年）の開始など学童保育の制度化を実現していった。その意味で、学童保育の歩みは保護者の願いを実現する市民運動の進展と成果の歩みでもあった。

しかしながら、こうした運動の実態は解明されておらず、また関連する資料も保存と整理がなされていない。日本の学童保育史研究は、ようやく始まったばかりである。本資料集成は大阪や東京、愛知など都市部から全国へと拡大していった学童保育の運動の実態を明らかにする学童保育研究初の基礎的な資料集であり、市民運動の成果である日本の学童保育を後世に継承していくための貴重な歴史的遺産である。

（このみや・しゅういち）

学童保育2号発刊について

コミュニティセンター研究協議会長 三木 達子

学童保育ということばはどれも適当でない、留守家庭児童会これも何やらピンとこない。カギツ子？とんでもない、誤解をうける、等々さんごんもみにもんだあげくの果が名案もないままに特志家の愛情と熱意で実施されてきた学童保育です。世の中はぐんぐん進んで、10年前には大都市特有の共働き家庭問題と考えられていたのが今や全国津々浦々までとりまねばならぬ社会問題となってきました。

備らく婦人の急激な増加に加えて、家庭も社会もおよそ児童をとりまくあらゆる環境のいちじるしい不健全化、不良化、児童福祉法も児童憲章も教育も福祉も児童不在の空文になって、厚生省も文部省もお手あげの形になったもの捨てるもおけずしがぶおん訳ばかりにやり始めたというのが現在の正直な姿です。しかし、時代の要請は猛烈です。これからのスピードは恐らく早いでしょう。いつまでも名なしの権兵衛ともいきませぬ。一貫した行政と統一されたよい名前もきめられましようが、それまでの間私共は当分学童保育と呼ばせてもらいます。

今ここにまる1年かかりで学童保育の2号が発刊される運びになりました。

それは忙がしい寸暇をさいて根気よくこの問題ととりくんできたコミュニティセンター研究協議会の青少年部会や、大阪学童保育連絡協議会の熱心なメンバーの汗の結晶です。

机上の空論ではございません。真剣にとりくんだ尊い記録です。ささやかながら必ず信頼の置ける研究として善意の積み重ねとにがい経験が御参考になると信じますし、皆様からの御批判が頂けましたらこの上ない喜と存じます。

不在家庭児を守る運動にご協力下さい

不在家庭児とは……

- 親が働かねばならないため、学校から帰っても、だれにも面どうを見てもえない学童をいいます。
- 大阪市には、このような小学生児童が、約3万人もいます。
- この子どもたちは、非行、交通事故、学力のおとるえ、などの問題にさらされています。



○このような不在家庭児を守るうとして、学童保育推進協議会が生まれました。



学童保育推進協議会のしごとは……

- ① 大阪市のあらゆるところで、学童保育所や不在家庭児童会が生れるようにする活動。
- ② 不在家庭児対策の啓もうや普及活動。
- ③ 保育者や、指導員のはたらきが、よりよい状態できるようにする活動。
- ④ 不在家庭児対策についての研究活動など。

不在家庭児のもんだいは、みんなのもんだいです。不在家庭児を守り育てるのは、私たち大人の責任です。どうか、あなたもこの運動の推進者になって下さい。

大阪市学童保育推進協議会  
事務所 大阪市天王寺区東高津町8-2 大阪市社会福祉協議会内  
(TEL768-3381)

会員申込書 (42年度)

○ 不在家庭児対策を推しすすめる運動に協力し  をそえて申込ます。

氏名	印	所属学校 施設、団体名
住所		
金額	一口 ¥100 × □ = 円	

ただきました大阪セツメント研究協議会をコミュニティセンターた。今後ともよろしく御支援御協力の程願ひ上げます。



大阪の学童保育No.2 1970年9月

不在家庭児を守る運動にご協力下さい(大阪市学童保育推進協議会) 1967年4月

ふつうに生きる市民の  
大きな力の存在を刻印する

袁輪明子 ●名城大学

今 〇年代の、学童保育が立ち上がる時代の資料が収められており、当時の様子を立体的に伝えている。

注目されるのは、学童保育指導員の専門性を高めるとりくみが熱心に行われていたことがわかる資料が数多くあること。加えて、きわめて低い労働条件を改善するための運動も早くから行われ、実際に処遇を改善させてきたことも確認できる。たとえば、東京23区など一部の地域での労働組合結成、その後の正規公務員化に関する貴重な文書も見ることが出来る。私自身はこの事実を知ってはいしたが、文書によってその詳細を知ったのははじめてである。現在も保育、子育て支援に携わる人々の処遇は専門職としてふさわしいものになっておらず、学童保育についてはとくに処遇改善が立ち遅れている。当時、指導員や保護者などと協力して処遇を高めようとした歩みは、現代でも参考になる。ちなみに低処遇でも指導員として熱心にはたっていた多くは若者か女性であったから、学童保育の労働条件改善の歩みがジェンダー平等の歩みでもあった点もよくわかる資料集成となっている。

保育・福祉の実践や制度は地域で立ち上げられることが多く、資料が散逸しやすいだけに、その歴史は忘却されやすい。今回、各地で学童保育がつくられた時代の全体像がわかる資料が編纂されることは画期的である。本資料集成をひもとけば、保育や福祉のしくみがふつうに生きる市民の力によってつくり出されることを得心できる。市民がもつ大きな力の存在を記憶として残すための重要な資料である。ぜひ推薦したい。

(みのわ・あきこ)



目次

文集 八年のあゆみ。◇◇◇◇◇	橋本 環子 1
にっきし……おれだまやゆき	橋本 環子 2
五〇年度公啓をめぐって……	会長 平田 勝子 4
みんなであつてついにあげた指導内容……	指導員 田 芳子 5
今年初めて預けた父母の感想文	小林 美子 6
あそびをつくりだしてはかきまわる	山崎 志子 7
思い出……卒業生の頁	藤井 れい子 8
エネルギーシユな指導員の頁	天本 志子 9
石田 芳子 永山 芳子 熊沢 専三	
吉川 蓮子 村本 志子 佐藤 敏雄	
石森 智子 柳田 美子	
核となつてゆき、ゆいていく父母の記録	大倉 宗生 10
今関 英子 砂本 宗子	
頼下 宏 大畑 松恵	
柴崎 千鶴子 生方 武男	
松岡 久代 上原 けい子	
佐藤 和子 鈴木 美津子	
中村 隆子 内 原 志子	
久林 隆子 内 原 志子	
幼く婦人の立場から	原田 冨子 11
実質的には「公立・委託」	大塚 達男 12
……公立公営を期待して……	
題名 柳田 美子 後 中沢 和子	
編集 上原 けい子 柳田 美子	
印刷 木田 明子 柳田 美子	
校正 橋本 環子 金沢 光子	
内 原 志子	

かくどうほいく八年のあゆみ(埼玉) 1974年9月18日

学童保育指導員の労働条件調査一覧表 ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・八

第5回学童保育研究会 第2分科会 よりよい学童保育のために! ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・八

児童館問題について(移行・解消が強まっている中で) ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・九

学童保育指導員の労働条件調査一覧表 ●東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七〇・一〇

東京地区学童保育研究会 ●資料 ●学童保育連絡協議会 / 東京都学童保育指導員労働組合 ●一九七・五

東京都学童保育推進協議会 ●一九七二・二

東京都児童福祉審議会 ●一九七二・二

東京都における児童館のあり方について(意見具申) ●東京都児童福祉審議会 ●一九七二・二

三多摩学童保育連絡協議会 報告資料集 その2 ●三多摩学童保育連絡協議会 ●一九七三・三

第7巻 東京編II / 埼玉編I

小金井市市立学童保育所の概要 ●小金井市厚生部保育課 ●一九七三・四

いたばし学童保育のあゆみ 活動の記録・資料集 ●板橋区学童保育連絡協議会編 ●一九七三・一〇

とうきょうの学童保育 特集号 No.3 ●東京都学童保育連絡協議会 ●一九七三・二

東京の学童保育 活動報告と資料 ●一九七四・九

杉並の学童保育10年のあゆみ ●東京都杉並区児童福祉センター ●一九七四・二

東京の学童保育 第2号 第9回全国学童保育研究会報告資料 ●東京都学童保育連絡協議会 ●一九七四・二二

がくどうほいく 八年のあゆみ ●上福岡市学童保育の会 ●一九七四・九

第8巻 神奈川編I

横浜市における留守家庭児童の分布とこれに対応する地域の児童福祉環境の実態 ●青柳良策 横浜市立神奈川小学校 ●一九六八・三

ニュース 市議会むけて請願 ●神奈川学童保育連絡会 ●一九七〇・一〇

学童保育をすすめるために 横浜市学童保育連絡会・発会式 報告書 ●横浜市学童保育連絡会 ●一九七二・三

川崎の学童保育 ●川崎市学童保育連絡協議会 ●一九七五・九

がけつぶちの学童保育明神台の10年 ●一九七五・九

学童保育と子どもたち ●横浜学童保育連絡協議会 ●一九七五・一〇

第9巻 大阪編I

ひまわり(不在家庭児童対策) 昭和39年度推進校実験報告 ●大阪市立四貫島小学校 ●一九六五・三

40年度 夏季学童保育報告書 ●大阪セツルメント協議会学童保育部 ●一九六五・二

大阪市学童保育推進協議会設立総会計画案 ●一九六七・二

学童保育 41年度夏季報告書 ●大阪セツルメント研究協議会 / 朝日新聞大阪厚生文化事業団 / 大阪市社会福祉協議会 ●一九六七・二



第一回大阪学童保育研究会報告集 ●学童保育研究会実行委員会 ●一九六九・四

昭和44年度夏季学童保育要領 ●一九六九・七

学童保育運営最低基準について ●一九六九・七

東豊中小学校不在家庭児童会父母の活動(参考資料) ●一九六九・七

大阪学童保育連絡協議会準備会の御案 ●一九六九・一〇

子どもの校外生活の実態調査アンケート ●一九六九・二二

陳情書(学童保育の早期建設) ●大阪学童保育をすすめる会 ●一九六九・二二

学童の校外生活実態調査について ●一九六九・二二

第二回大阪学童保育研究会実行委員会の御案内 ●実行委員会事務局 ●一九六九・二二

大阪学童保育連絡協議会を結成しましょう ●大阪学童保育連絡協議会準備会 ●一九六九・二二

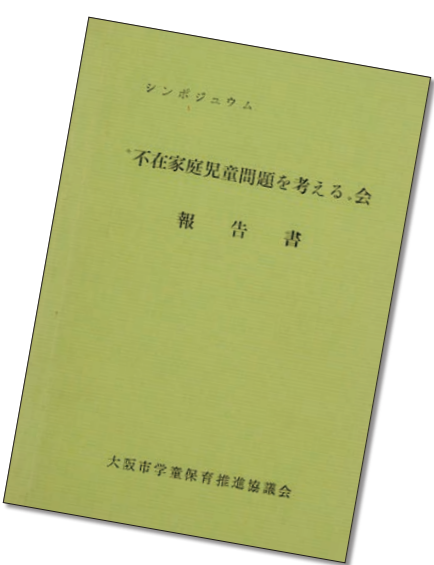
子どもの生活実態調査アンケート ●大阪セツルメント研究協議会学童保育部 ●一九七〇・一

第二回大阪学童保育研究会実行委員会の御案内 ●実行委員会事務局 ●一九七〇・一

大阪学童保育連絡協議会を結成しましょう ●大阪学童保育連絡協議会準備会 ●一九七〇・二

第二回大阪学童保育研究会のおさそい ●一九七〇・二

第2回学童保育研究会資料(大阪) ●第2回大阪学童保育研究会 ●実行委員会 ●一九七〇・二



第二回大阪学童保育研究会報告集 ●集会実行委員会 ●一九七〇・二

大阪学童保育連絡協議会第1回総会のお知らせ(手書き) ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・四

大阪学童保育連絡協議会結成にあたって 御挨拶 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・四

出来島学童保育所のしおり ●一九七〇・四

大阪学童保育連絡協議会第1回総会のお知らせ ●一九七〇・四

大阪学童保育連絡協議会入会のおびかけ ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・五

子どもの生活実態調査(第一次報告) ●大阪市コミュニティセンター研究協議会学童保育部 ●一九七〇・五

おおさかの学童保育 No.1 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・六

大阪学童保育交流会に集まりました! ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・六

連絡協ニュース「おおさかの学童保育」を読みましよう! ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・六

れんらくニュース No.1 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・六

学童保育の会会報 第30号 ●東淀川西地学童保育の会 ●一九七〇・七

出来島学童保育ニュース 1号 ●一九七〇・七

おおさかの学童保育 No.2 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・八

大阪の学童保育 No.2 ●大阪市コミュニティセンター研究協議会 / 大阪市社会福祉協議会 / 日本生命済生会 発行 ●一九七〇・九

学童保育実態調査まとめ ●炭木保育所をつくる会 ●一九七〇・九

おおさか学童保育学習会のおさそい ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・九

第5回全国学童保育研究会 大阪報告集会 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・二〇

大阪府へ学童保育の要求をぶつけよう 第3回保育所要求大阪婦人集会 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・二〇



大阪市学童保育推進協議会設立総会 ●大阪市学童保育推進協議会設立発起人会 ●一九六七・三

不在家庭児を守る運動にご協力下さい ●大阪市学童保育推進協議会 ●一九六七・四

シンポジウム 不在家庭児童問題を考える 会報告書 ●大阪市学童保育推進協議会 ●一九六七・一〇

北田辺保育園 学童保育のあゆみ案 ●財団法人北田辺保育園学童部 ●一九六八・三

学童保育 大阪市のあゆみと現状 No.1 ●大阪セツルメント研究協議会 / 大阪市社会福祉協議会 ●一九六八・四

がくどうほいく 第1号 ●大阪市学童保育推進協議会 ●一九六八・四

第10巻 大阪編II

学童保育保護者代表者会議の開催について ●一九六八・五

学童保育をつくる会ニュース No.5 ●向ヶ丘団地自治会学童保育所をつくる会 ●一九六八・九

不在家庭児童会実施校の視察について(市社協第10号) ●大阪セツルメント研究協議会 ●一九六八・九

第1回大阪学童保育研究会 ●一九六八・二二

第1回大阪学童保育研究会へのおさそい ●大阪市社会福祉協議会 / 大阪市学童保育推進協議会 ●一九六九・一

御案内(阿倍野区に学童保育をつくる会結成総会) ●一九七〇・二

おおさかの学童保育 No.3 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七〇・二

各小学校区に学童保育に関する事業を求める請願書 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二

おおさかの学童保育 No.4 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二

第3回大阪学童保育研究会のお知らせ ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二

昭和45年度大阪市学童保育施設指導員研修会 資料 ●大阪市社会福祉協議会 ●一九七二

おおさかの学童保育 No.5 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二

学童保育ニュース No.8 ●天王寺保育所設置実行委員会 / 学童保育所をつくる会 ●一九七二

各小学校区に学童保育に関する事業を求める請願書 ●一九七二

大阪府下の学童保育実施状況(昭和46年度) ●一九七二・四

働くお母さん方へ 出来島学童保育所 ●一九七二・四

昭和46年度留守家庭児童会一覽 ●一九七二・四

連絡協年間の足どり ●(大阪学童保育連絡協議会事務局) ●一九七二・五

天王寺区のみなさまにご支持ご協力を訴えます! ●天王寺保育所実行委員会 ●一九七二・五

第二回大阪学童保育講座のお知らせ ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二・七

おおさかの学童保育 No.6 大阪学童保育連絡協議会ニュース ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二・七

枚方市における学童保育の動き 第3回全国民間保育団体合同研究会 II-5「学童保育」分科会資料 ●大阪府枚方市 開成家庭児童会保護者会 ●一九七二・八

第3回大阪学童保育研究会報告集 ●大阪学童保育連絡協議会 ●一九七二・八

第11巻 大阪編III

第11巻 大阪編III

児童保育の諸要求を検討する会●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七二・一〇  
指導員集会にあつまりましたよう!●一九七二・二二

おおさかの児童保育 No.8 大阪児童保育連絡協議会ニュース  
●大阪児童保育連絡協議会●一九七二・二二  
陳情書●旭区保育所運動連絡会/旭区大宮校下に児童保育を作る会  
●一九七二・二二  
〈こあんない〉十五人定員ではもう足りない!●北田辺保  
育園●一九七二・二二

第4回大阪児童保育研究会(ポスター)●大阪児童保育連  
絡協議会●一九七二・三三  
第4回大阪児童保育研究会資料●一九七二・三三  
ふやそう児童保育を育てよう豊かなこどもを! 第  
四回大阪児童保育研究会●一九七二・三三  
児童保育をすすめる父母と教師と指導員の集会  
●大阪児童保育連絡協議会●一九七二・三三  
児童保育をすすめる父母と教師と指導員の集会  
〔報告〕●一九七二・三三

児童館における児童保育についての対市交渉の報告  
●一九七二・四四  
第4回大阪児童保育研究会報告集●大阪児童保育連  
絡協議会●一九七二・五五

児童保育連絡協議会ニュース No.1●大阪児童保育連絡協  
会●一九七二・六六  
児童保育の制度化試案●大阪児童保育連絡協議会●一九七二・九  
加美地域に児童保育所を設置して下さい。●加美地域に  
児童保育を作る会●一九七二・九

要望書●西成保育所運動連絡会/みどり児童保育所●一九七二・一〇  
陳情書●帝塚山児童保育の会●一九七二・一〇

第12巻 大阪編IV

阿倍野・西成建設予定の児童館に児童保育を●阿倍野区  
に児童保育をつくる会/西成みどり児童保育所●一九七三

請願書●北田辺・奥津児童保育をすすめる会●一九七三・二二

第5回大阪児童保育研究会●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七三・三三  
大阪保育運動センター建設募金のおねがい●大阪保育運  
動センター建設委員会●一九七三・五五  
大阪保育運動センター建設ニュース 第3号●大阪保育運  
動センター建設委員会事務局●一九七三・八八

保育運動センターニュース 会員のみなさんの御協力を!  
●大阪児童保育連絡協議会●一九七三・九  
大阪の児童保育臨時ニュース●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七三・九  
要望書●清水児童保育所保護者会●一九七三・一〇  
陳情書●阪南児童クラブ父母会●一九七三・一〇  
陳情書●住吉区児童保育設立実行委員会●一九七三・一〇  
陳情書●北田辺・桑津児童保育をすすめる会●一九七三・一〇

大淀児童焼死事故についての私たちの抗議と要求●大  
阪保育所運動連絡会/大阪児童保育連絡協議会●一九七三・一〇  
第8回 全国児童保育研究会 討議資料●大阪 天王寺  
なによし児童保育所父母の会●一九七三・二二  
大阪の児童保育ニュース●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七三・二二

こどもたちに遊び場を! 各校區に児童保育所を!  
●天王寺保育所設置実行委員会●一九七四  
大阪保育運動センターのしおり●一九七四  
要求書●住吉児童保育設立実行委員会●一九七四・二二

昭和48年度大阪市児童保育指導員研修会資料●社会福  
祉法人大阪市社会福祉協議会●一九七四・三三  
第6回大阪児童保育研究会開催にあたっての協  
力をお願い●大阪児童保育連絡協議会●一九七四・三三  
第6回大阪児童保育研究会●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七四・三三

大阪の児童保育 資料と実践記録 No.3●大阪児童保育連絡協  
会●一九七四・四四  
児童保育の制度化実現等について 陳情書●豊江地区学  
童保育をつくる会●一九七四・四四

第1回愛知児童保育研究会 討議資料●愛知児童保育連絡  
協議会準備会●一九六九・二二

松下児童保育だより No.1●松下児童保育を守る会●一九七〇・二  
御器所児童保育1年半のあゆみ●御器所児童保育  
●一九七〇・九

愛知児童保育ニュース No.6●愛知児童保育連絡協議会  
●一九七〇・九

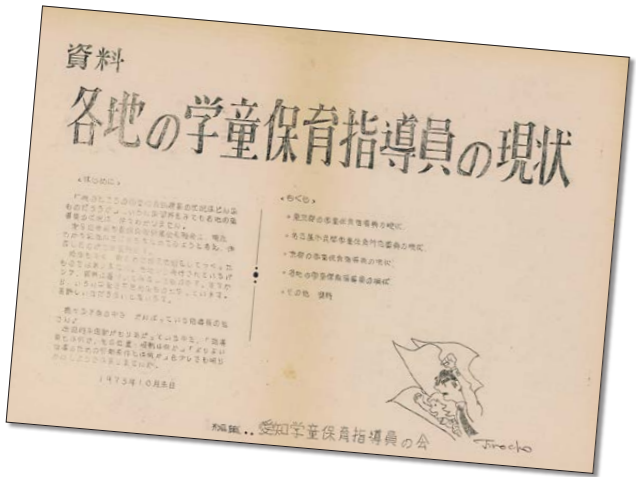
第14巻 愛知編II

児童保育事業の制度化に関する請願書(名古屋市議会議  
長宛)●一九七二

第2回愛知児童保育研究会 討論資料●愛知児童保育連絡  
協議会●一九七二・二二

児童保育―教育研究部ニュース No.2●愛知児童保育連絡協  
議会教育研究部●一九七二・五

愛知に於ける児童保育の現状●愛知児童保育連絡協議会  
●一九七二・六  
実践報告 児童館活動 児童保育 実施状況と反省●岩  
倉町立児童館●一九七二・九



第五回定期総会のご案内●大阪児童保育連絡協議会  
●一九七四・五

大阪学保協人形劇に集まりましたよう!●一九七四・八  
資料児童保育の制度化に関する意見書●一九七四・二〇  
1973年8月/1974年10月まで指導内容まと  
め●一九七四・二〇  
なによし児童保育所父母の会ニュース●一九七四・二二  
昭和49年度大阪市児童保育指導員研修会資料●社会福  
祉法人大阪市社会福祉協議会●一九七五・三三

第13巻 愛知編I

児童保育に関する調査 名古屋市留守家庭児童会の実態と学  
童保育のありかた「家庭教育資料」●名古屋市青少年問題協議会・名  
古屋市教育委員会●一九六七・三三

しが 1968年8月 志賀児童保育報告集●愛知県学生セツルメント  
連合志賀児童保育所●一九六八・八  
『ひばり』の子たちと生活をともにして 春日井ひばり留  
守家庭児童会にて●一九六九・二二

昭和43年度 留守家庭児童会研究資料●愛知県教育委員会  
●一九六九・三三

実践報告集●春日井児童保育●一九六九・八  
愛知児童保育ニュース No.1●愛知児童保育連絡協議会  
●一九六九・一〇



地域教育運動としての児童保育運動の発展を! 於・  
名古屋●城陽町職員組合 大畑たかし●一九七〇・一〇

京都市児童保育所指導員正規職員化運動●一九七〇・二〇  
「京都市児童保育連絡協議会・結成大会」にあつまら  
しょう!●一九七〇・二二

長岡の児童保育その歴史、現実、未来●長岡町児童保育保  
護者会連合会●一九七二・九

きょうとのがくどうほいく No.1●京都児童保育連絡協議会  
●一九七二・九

京都市の児童保育 No.2●京都市児童保育指導員連絡労働組合専  
門部●一九七四・九

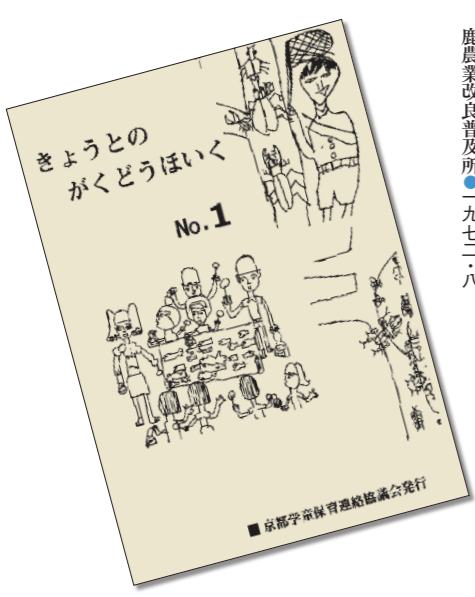
修学院地域の子どもたち―放課後の生活実態調査  
(1974・11)のまとめ●修学院地域子どもと教育を守る連絡会  
準備会●一九七五・八

児童保育資料●尼崎市保育連絡会児童保育部●一九六九・二二  
尼崎市 保育関係資料●尼崎市保育問題連絡会●一九七〇・六

ぼくはなかまがほしいんよ 広島市の児童保育所づ  
くり●広島市児童保育連絡協議会 広島県母親連絡会●一九六四・八

留守家庭児童の健全育成●新潟県教育庁社会教育課  
●一九六九・一〇

夏休み児童保育に関する記録 昭和46年度 昭和47年度●鈴  
鹿農業改良普及所●一九七二・八



# 第3回学童保育研究集会 報告集

1968年11月23・24 / 東京・東医健保会館

太陽の光は公平です。下の葉にも光を与え、  
どの葉もみんな同じ光を受けています。  
皆さんの御活躍を祈ります。

美濃部亮吉(祝電)

記念講演 学童保育における生活指導	1
各府県の学童保育の現状	4
第1分科会 よりよい学童保育のために	
その1/指導内容をどう向上させるか	7
その2/施設改善をどうすすめるか	13
その3/指導員の待遇改善をどうすすめるか	14
第2分科会 学童保育所をたくさんつくるために	
その1/学童保育の位置づけを考える	21
その2/学童保育所づくり運動の進め方と問題点	26
学童保育連絡協議会総会報告	29
資料 東京都23区における学童保育指導員の労働条件	16

## 大阪・「今川学園」 卒園児を放つておけない 保育園の中に学童組

○：大阪市の南のはずれ、東住吉区今川町にある「今川学園」(社会福祉法人)は創立三十一年の歴史をもった保育園で、定員一三名、保母さんも十二名という、ほとんど小さい学校ほどの規模です。学童組や絵や習字の子供クラブもあり、二年前からお年玉ハガキの分配金百万円で精進鬼の特別保育室もできています。

○：夕方近く、保育園の子どもたちは大方帰って、お残りの十人ばかりが掃除をしている保母さんたちにもつわっていましたが、玄関あきの五坪くらいの学童組の室では、新しい大きな四つ机のまわりで、一年、二年、三年、四年と大体学年別に集まってにぎやかに宿題や勉強をやっています。女の先生がひとり、それに、園長さんがここで面倒みてあげているという十五、六になるお兄ちゃんがお父さんの算数のノートをみてやっています。

○：この学園で学童保育をはじめたのは昭和二十五年からだとおぼろしいです。「もともと園児が卒業して学校へ上るようになって、保育園を必要とした不在家庭の子どもが問題が解消するわけがありません。お母さんたちはいっそう困るばかりです。学童組をはじめた直後の動機は、近所の父親と三人の子の家庭で、学校から帰った子供が近所のうちへ入りびたっていました。そのうちの机の引出しからお金を盗み出した、という事件がありました。毎年こういふ事情の子どもが幾人か卒業します。放っておけばますます悪くなるかも知れない子どもをそのままにはできません」半生をこの仕事に献身し、すでに五十半ばとみられる園長の三木進子先生は断ります。

△ はじめたのは昭和二十五年 ○：はじめのうちは、学校から帰ってきたらここで遊ばせていたけれど、児童福祉法ができたので、それによって二十五年から正式に放課後保育をはじめた、ということとです。正式に手続きをとれば、児童一人について大阪では八百円の公費が出るから、十人もいればなんとお事務費が出る、とのこと。現在二十名からの学童組に先生は一人、午前中は事務をやり午後から五時まで子どもたちの面倒

### 内容見本

#### 既刊図書のご案内

#### 民主保育連盟資料 全1巻《編集復刻版》

◆編・解説 松本園子  
「民主保育連盟」は、敗戦直後の1946年10月、荒廃した焼け跡の中から新しい保育施設をつくることを目的に、羽仁説子を代表として組織された。

戦後改革期の保育に関する基本資料である連盟の機関紙『民主保育ニュース』全号と、関連資料12点を収録。

◆体裁 A4判/上製/総190ページ  
◆定価 20,000円+税(税込22,000円)

●推薦 中戸健夫  
2015年5月刊  
ISBN978-4-905421-81-8

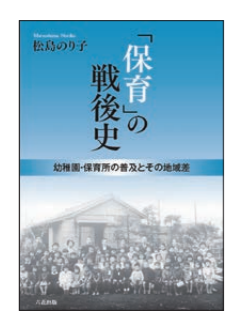


#### 「保育」の戦後史 幼稚園・保育所の普及とその地域差

◆著 松島のり子  
より良い「保育」の機会をもたらすための保育施設の普及を考察！戦後の保育に関する発展過程や課題を、幼稚園(文部省)・保育所(厚生省)の二元体制の中で捉えながら、東京都、石川県などの各地域で行われた施策とその地域差に着目し検証した意欲作。

◆定価 6,000円+税(税込6,600円)

●推薦 湯川嘉津美  
480ページ  
2015年5月刊  
ISBN978-4-89617-131-9



#### 障害児学童疎開資料集 全4巻《編集復刻版》 The Complete Collection of Reprinted Materials of Evacuation of Handicapped Children

◆編 松本昌介・飯塚希世・竹下忠彦・中村尚子・細瀬富夫  
◆解説 松本昌介・飯塚希世

戦時下、激化する空襲と食糧不足のなかで、肢体不自由児は、視覚障害児は、聴覚障害児は、そしてその家族や教育者たちは、どのような生活を強いられ、生き抜いたか。強壮な兵士になることだけが子どもたちに望まれた時代の、障害児たちの貴重な生活記録！

第1巻 光明学校Ⅰ(巻頭に序文)逸見勝亮、解説 松本昌介

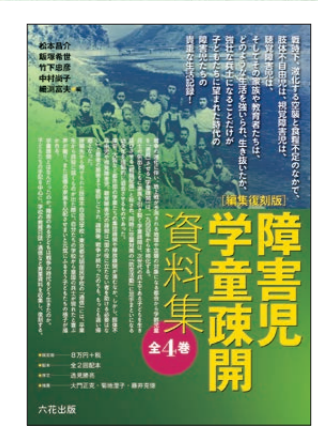
第2巻 光明学校Ⅱ(巻末に機関誌類の総目次)

第3巻 日誌・報告・通信ほか/回想・研究Ⅰ(巻頭に解説)飯塚希世

第4巻 回想・研究Ⅱ

◆定価 80,000円+税(税込88,000円)

●推薦 大門正克・菊地澄子・藤井克徳  
総約1,600ページ  
2017年11月刊 ISBN978-4-89617-171-5



#### 行動する女たちの会資料集成 全8巻《編集復刻版》 The Complete Collection of Reprinted Materials of the Women's Action Group

◆編 高木澄子・中嶋里美・三井マリ子・山口智美・山田満枝

◆解説 井上輝子・山口智美  
国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会(1975〜96年)の全記録！

インスタントラーメンCM「私作る人、僕食べる人」などの性別役割分業に抗議し、家庭科の男女共修、出席名簿の男女混合の運動を推進して70年代から90年代のウーマンリブ/フェミニズム運動の一翼をになつた「行動する会」。その活動を記録するチラシ・宣言文・裁判資料・リーフレット・機関誌等、約630点を編集復刻！

◆体裁 A4判(第1巻・第2巻)・B5判(第3巻〜第8巻)/上製/総約3,300ページ

◆定価 180,000円+税(税込198,000円)(全3回配本)

●推薦 笹沼朋子・樋口恵子・ノーマ・フィールド・安田常雄・栗田隆子・千田有紀・谷合規子・角田由紀子・福島みずほ・三木草子・山口里子・横田カーター啓子・米津知子

第1回配本 2015年7月刊 本体60,000円+税 ISBN978-4-905421-81-9(税込66,000円)

第2回配本 2015年12月刊 本体60,000円+税 ISBN978-4-905421-87-0(税込66,000円)

第3回配本 2016年6月刊 本体60,000円+税 ISBN978-4-905421-91-7(税込66,000円)





## 学童保育

関係資料集成  
第1期 全16巻

●編・解説―石原剛志(静岡大学)

●体裁―B5判・上製・総約6、400ページ

●揃定価―320、000円＋税(税込352、000円)(全4回配本)

●推薦―増山均(早稲田大学名誉教授・日本学童保育学会前代表理事)

●亀口まか(龍谷大学)

●二宮衆一(和歌山大学)

●蓑輪明子(名城大学)

## 第1回配本

2024年12月刊 本体80、000円＋税(税込88、000円)  
ISBN978-4-86617-266-8

第1巻 「留守家庭児童／不在家庭児童」調査資料編Ⅰ

第2巻 「留守家庭児童／不在家庭児童」調査資料編Ⅱ

第3巻 学童保育連絡協議会編Ⅰ

第4巻 学童保育連絡協議会編Ⅱ

## 第3回配本

2025年11月刊 本体80、000円＋税(税込88、000円)  
ISBN978-4-86617-276-7

第9巻 大阪編Ⅰ

第10巻 大阪編Ⅱ

第11巻 大阪編Ⅲ

第12巻 大阪編Ⅳ

## 第2回配本

2025年5月刊 本体80、000円＋税(税込88、000円)  
ISBN978-4-86617-271-2

第5巻 全国学童保育連絡協議会編Ⅰ

第6巻 東京編Ⅰ

第7巻 東京編Ⅱ／埼玉編Ⅰ

第8巻 神奈川編Ⅰ

## 第4回配本

2026年5月刊 本体80、000円＋税(税込88、000円)  
ISBN978-4-86617-281-1

第13巻 愛知編Ⅰ

第14巻 愛知編Ⅱ

第15巻 愛知編Ⅲ

第16巻 京都編Ⅰ／兵庫編Ⅰほか

## キーワード

- #日本現代史
- #学童クラブ
- #女性労働
- #ジェンダー
- #児童福祉
- #子どもの権利
- #子育て支援
- #親の就労の権利
- #初等教育
- #保育労働者
- #留守家庭
- #不在家庭
- #共稼ぎ
- #ひとり親家庭
- #ワンオペ
- #指導員
- #放課後
- #少子化
- #児童館
- #隣保館
- #特別支援教育
- #セツルメント



\*表示価格はすべて税別。

